

# 株式会社イースト (北上市)

## ■高付加価値のサービス提供による生産性向上



### 《企業情報》

- 〒024-0063  
岩手県北上市九年橋3-19-18
- 設立 平成13年5月
- 資本金 1000万円
- 従業員 16名
- 事業内容 労働派遣、生産請負、軽貨物、ポスティング、オートコール
- 代表者 菊池 和也

### 《問合せ先》

- TEL : 0197-65-4455
- FAX : 0197-63-4633
- URL :  
<http://www.est-job.jp>
- メール : [est-kita@titan.ocn.ne.jp](mailto:est-kita@titan.ocn.ne.jp)



## 社内カンパニー制導入

### 成長・発展に向けた我が社の取り組み

### 取り組みの概要・効果

企業ニーズに合致した人材育成とタイムリーな人材配置の提案、企業内業務の見直し等、幅広い課題に対応できる総合人材サービス業を目指し、サービス領域と業務領域の拡大に努めている。

経営の戦略的配分を推し進め、迅速な得意先への対応ときめ細やかなサービスを目指し“社内カンパニー制”を導入している。“社内カンパニー制”の導入にあたり社内・社外問わず統括責任者を募集し戦略性、独立性の高い組織を確立、得意先のニーズにきめ細い対応で付加価値の高いサービス提供が可能となった。



### 工夫・苦心のポイント

ユーザーニーズの取り込みと付加価値の高いサービス提供を目指して、社内カンパニー制度を導入したが、同制度への理解と運用面で細心の注意を払った。

現状ではそれぞれの独立性を生かしたスピーディな判断とサービスが功を奏し高い評価を得ている。

### 今後の課題・戦略

“社内カンパニー制”の更なる浸透と運用により一層の事業拡大を推進する。社内カンパニー制度がより戦略的で独創的な役割が果たせるような機能を今後も検討するとともに、バックアップ体制も強化していく。

# 株式会社いんベクリーニング (盛岡市)

■地域貢献 ■新ニーズの掘り起こし



## 《企業情報》

- 〒020-0864  
岩手県盛岡市西仙北1-41-25
- 設立 昭和35年9月
- 資本金 1500万円
- 従業員 115名
- 事業内容 クリーニング・フィットネスクラブ
- 代表者 印部 直

## 《問合せ先》

- TEL : 019-635-2111
- FAX : 019-635-8115
- URL :  
<http://www.inbe.co.jp>
- メール : [ceaninng@inbe.co.jp](mailto:ceaninng@inbe.co.jp)



## お客様の衣類は “人生の物語”

成長・発展に向けた我が社の取り組み

### 取り組みの概要・効果

創業91年を迎えるクリーニング業。お客様の衣類には「人生の思い出」が込められていることを思い続け、営業を展開してきた。直営店、取次店あわせ県内に70店舗を構え、「人生の物語」という名のお客様の衣類を大切に！」をモットーに、一般から病院・ホテル関係の業務用リネンまで対応してきた。企業には社会貢献の使命があるという立場から高齢・障害者雇用の場として岩手県、盛岡市が出資する第三セクターにも資本参加し、福祉工場として雇用の窓口にもなっている。

従業員女性の70%が40歳以上。日々健康で明るい職場環境作りを目指すなかで、近年重要視されてきている高齢化社会に向けた予防介護に着目。元気な老人の育成という新しいニーズに対応すべく、平成18年に中高年をターゲットとしたフィットネスクラブの経営に着手した。特に筋力が弱ってきている女性にスポットをあて、女性が安心して気軽に運動が出来る女性だけのフィットネスクラブ、世界No.1の「カーブス」に加盟し、現在岩手県内に5店舗を運営している。



### 工夫・苦心のポイント

高齢化社会を見越し、新ニーズの掘り起こしとしてフィットネスクラブの運営に参入した。比較的円滑な立ち上げとなったが、インストラクターの育成などが課題となっている。

### 今後の課題・戦略

高齢者、障害者雇用を中心に行政と連携して地域貢献に取り組むとともに、高齢化社会が進むなか、元気な老人づくりへの提供の場としてアピールしていきたい。

# 株式会社小田島アクティ (花巻市)

■新商品開発 ■新技術開発 ■地域貢献 ■企業イメージアップ ■企業間連携

## 〈企業情報〉

- 〒025-0088  
岩手県花巻市東町1-5
- 設立 平成16年2月
- 資本金 3000万円
- 従業員 76名
- 事業内容 医療・介護食の販売、介護用品の販売・レンタル、治験支援事業
- 代表者 小田島 修司

## 〈問合せ先〉

- TEL：022-388-8045
- FAX：022-388-8078
- URL：  
<http://www.odashima-acty.co.jp>
- メール：  
[kz-sato@odashima-acty.co.jp](mailto:kz-sato@odashima-acty.co.jp)



## 産学連携で新商品を開発

成長・発展に向けた我が社の取り組み

### 取り組みの概要・効果

高齢化の進行に伴い、咀嚼・嚥下機能が低下した方への食生活QOL（クオリティ・オブ・ライフ）確保が重要な課題として取り上げられている。

嚥下食に関して実績のある聖隷三方原病院（静岡県浜松市）で提供されている段階的な食事基準を食品の物性側面から「硬さ」と「粘り」の特性に基づき数値化し、工業的に5段階で製造した「エスアップ」を開発。宮城県産業技術総合センターからの支援も受けた。

現在、嚥下困難者の評価法としてVF（レントゲン）、VE（内視鏡）を用いることがスタンダードとなっている。

しかし、福祉施設・在宅の人たちへの検査実施は必ずしも実行されていないのが現状である。医療機器がなくても「エスアップ」を使えば嚥下機能低下レベルの評価判定を簡易的に行うことができ、同一食品物性での直接嚥下訓練にも取り組んでいる。

### 工夫・苦心のポイント

- ①製造に当たり、配合割合の確定数値と官能評価をリンクさせること。
- ②大手企業では対応できない少量多食種生産可能な他業種とのプロジェクト企業体（つばめプロジェクト）の結成、宮城県・東北大学医学系研究科との産学官連携などが成功の背景にある。

### 今後の課題・戦略

社会のニーズに柔軟に対応し、真に求められるサービスを提供し続けることで、小田島アクティの存在価値を高め、地域の皆様に親しまれる企業として成長することを目指している。課題は、現行アイテムでの専門学会を中心とした販路の拡大が挙げられる。

# 共栄運輸株式会社 (胆沢郡金ヶ崎町)

■企業間連携 ■IT導入・活用 ■地域貢献



## 《企業情報》

- 〒029-4503  
岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根西檀原4-1
- 設立 昭和42年4月
- 資本金 2000万円
- 従業員 260名
- 事業内容 一般貨物自動車運送業、貸切旅客自動車運送業
- 代表者 高橋 一見

## 《問合せ先》

- TEL : 0197-42-2121
- FAX : 0197-42-2418
- URL :  
<http://www.mac.ne.jp/~kyoei-tp/>
- メール : [kyoei-tp@mac.ne.jp](mailto:kyoei-tp@mac.ne.jp)



## 徹底した安全教育の実施

成長・発展に向けた我が社の取り組み

### 取り組みの概要・効果

ビジネスパートナー同士で「トヨタ協働会」を結成し、荷主であるトヨタ輸送（株）のニーズへの対応、協調、交渉、信頼の構築に努めている。また、荷主取引先グループ組織「桐友会」にも加盟し、異業種間交流の中から事業拡大にもつながっている。

地球環境を考える取り組みとして、車両燃費向上や無事故対策に取り組んでおり、取引先の信用構築と調和の取れた事業展開を進めている。車両安全運行管理体制の強化や充実対策を確立し、24時間体制の点呼とアルコール測定システム（遠隔地対応）の導入により安全への取り組みも強化している。

トヨタグループ企業からの受注を機に、徹底した管理体制構築に取り組み信用力を強化。その結果、他業種からの信頼も得て、業績面にも効果が現れた。環境と安全に配慮した経営で岩手県第1号のグリーン経営認証とGマークを取得。また、自動車部品輸送と食品輸送では大きく管理システムが異なり、食品輸送部門を分社化することで効率が向上した。

### 工夫・苦心のポイント

「徹底した安全教育」と「地球環境保全」に重点を置きドライバーに日々の運行データ管理を実施させ、その後の見直しによるドライバー自身への意識付けを行った。社内で無事故推進委員会を設置し、安全講習会の他、添乗指導や車両点検、ドライバーの健康管理にも着手。GPS運行管理システム導入によるコストアップも見られたが、それ以上に管理体制の充実が図られた。

### 今後の課題・戦略

当社のモットーは「社運をかけて安全運転の共栄運輸」で物流業界は、規制緩和など厳しい環境にあるが、その中で意識改革と革新的な高効率経営により環境変化へ適応し、誠実な企業活動を通じて信用構築を図っていく。時代の変化に対応するため、社会貢献の一助として社会福祉法人「共伸会」の運営を後援する等、地域社会福祉貢献事業も継続する。

# 株式会社久慈設計 (盛岡市)

■技術導入・活用 ■新ニーズの掘り起こし ■IT導入・活用 ■企業イメージアップ ■企業間連携



## 《企業情報》

- 〒020-0885  
岩手県盛岡市紺屋町3-11
- 設立 昭和39年6月
- 資本金 2000万円
- 従業員 58名
- 事業内容 建築設計監理業、耐震調査
- 代表者 久慈 竜也

## 《問合せ先》

- TEL : 019-624-2020
- FAX : 019-622-7720
- URL :  
<http://www.kuji-act.co.jp/>
- メール : [info@kuji-act.com](mailto:info@kuji-act.com)



## 企業間連携により業務範囲を拡大、質を向上

成長・発展に向けた我が社の取り組み

### 取り組みの概要・効果

当社は建築設計の専門集団として東北地区一円を商圏に幅広い営業活動を展開している。経営理念として「価値ある仕事によって社会に貢献し、それを通じて個人は成長し、会社も発展していく」を掲げ、官公庁や民間の大規模建造物など数多くの設計監理を手掛けてきた。

永年の営業実績と豊富なノウハウ蓄積を活かした提案型の営業に力を注いでいる。これらの実績を積み重ねることで仙台市や東京都に所在する設計会社と業務提携を開始し、新しいニーズの発掘や高品質な設計業務の提供ができるようになった。

東北地方特有の建築文化を創り出すために、その自然と風土、歴史と生活を常に考え、地域とともに歩むその方向性を確かなものとするため、「Tomorrow for the Smile」のスローガンのもと、組織力を強化し建築設計の専門家集団として、お客様とともに成長・発展し、ともに幸せになり、ともに社会に貢献していくことを目指している。



### 工夫・苦心のポイント

お客様の立場に立って、専門家でなければ分からないことを解り易く、色々な観点から整理し、結論を説明することで信用が得られると考えている。

お客様の信頼に応えるため、ISO9001の認証を取得し、正確な仕事を継続してきたことが生産性の向上につながっている。

### 今後の課題・戦略

社内で持っている建築意匠・構造設計・設備設計などそれぞれの分野で特化した人材を育てる取り組みを更に強化するとともに、チームプレイができる組織づくりが課題。

# 白金運輸株式会社 (奥州市)

## ■高付加価値のサービス提供による生産性の向上



### 《企業情報》

- 〒023-1132  
岩手県奥州市江刺区稲瀬字沼館69
- 設立 昭和49年12月
- 資本金 8625万円
- 従業員 250名
- 事業内容 貨物自動車運送事業、倉庫業
- 代表者 海鋒 守

### 《問合せ先》

- TEL : 0197-35-0111
- FAX : 0197-35-1125
- URL :  
<http://www.srg.co.jp>
- メール : kimura@srg.co.jp



## インランドテポを活用したSCMの構築

成長・発展に向けた我が社の取り組み

### 取り組みの概要・効果

平成17年、岩手県北上に「保税蔵置場」が設置されたことから当社では、新たに通関業務を手掛けて、輸出入を含む原料調達と製品出荷を一元的に効率化した総合物流業に成長した。顧客拠点の近くで通関することで費用が低減するメリットもあり、地元に着目した企業として、顧客のニーズにオーダーメイドで応える等キメ細かいサービスを心がけている。

国内物流業界は厳しい競争を強いられ、価格以外の差別化が難しい状態が何年も続いている。経済はグローバル化し、物流サービス業においても国境というハードルを取り払いたいと考え、地域行政からの支援も受けて通関業界に参入。

輸出入を含め物流ニーズをもった新規顧客との取引が拡大し、顧客の原料調達や製品出荷の効率化にも貢献できている。



### 工夫・苦心のポイント

岩手県内にも輸出入に関わりのある企業が存在したことが追い風となり、同時に経験者や興味のある人材を確保できたことが、幸いであった。

地域の行政や団体の後押しがあったことも大きかったが、新規参入する上では経験のないことが一番苦労した点。

### 今後の課題・戦略

国際物流において顧客ニーズを満足させるには、港湾や船会社等との関係も密接に関わってくる。

柱となる陸送部門は近い将来労働力不足という大きな不安を抱え、昨今の燃油高騰問題も最大の課題となっている。今後、単に周囲との競争をこなしては必ず負け組となると予測しており、経営資源や強みを出し合う形のコラボレーションを、同業界はもとより関連する企業間や顧客と行うことで、大きな競争力を発揮できると考える。

# 高源精麦株式会社 (花巻市)

■サービスのモデル化・最適化 ■地域貢献 ■企業イメージアップ

## 《企業情報》

- 〒025-0092  
岩手県花巻市大通り1-21-1
- 設立 昭和33年5月
- 資本金 1450万円
- 従業員 38名
- 事業内容 精肉販売、養豚業、飼料の販売、飲食業
- 代表者 高橋 靖忠

## 《問合せ先》

- TEL : 0198-22-2811
- FAX : 0198-22-2600
- URL :  
<http://www.meat.co.jp/>
- メール : [takagen@meat.co.jp](mailto:takagen@meat.co.jp)



## 新しいブランド 白金豚

成長・発展に向けた我が社の取り組み

### 取り組みの概要・効果

穀物加工業として明治43年に創業し、その後飼料も扱うようになり養豚業に進出。平成8年の養豚場の火災を転機に約1年を掛けて飼育システムの抜本的見直しも行った。品質を重視した様々な改革と販売戦略を実施するとともに平成19年から当社直営店舗を開設した。「白金豚」のブランドは定着し、生産性も着実に向上している。

「食」の安全性が問われる中、従来の養豚業から離脱し品質向上に力を注いでいる。平成13年1月に商標登録したブランド豚「白金豚」は徐々にマスコミ等に取り上げられるようになり、知名度は向上している。具体的な取組みとしては、分娩舎と離乳舎を分離した2サイドシステムの導入、非遺伝子組替穀物やミネラルウォーターの使用、スーパーマーケットとの決別と外食産業への販売戦略、養豚から精肉加工までの一貫体制構築による自社独自の販売方法の確立など、様々な改革を実施し品質管理の徹底にも努めている。



### 工夫・苦心のポイント

品質を重視する抜本的改革により手間もコストもかかったが、BSE問題を機に一層「食」への安全性が問われたことが追い風となった。地元の理解・評価を一番に考え、全国的な販路拡大により知名度を上げるのではなく、「東京には何でも集まる、だからこそ田舎の一番が求められる」との思いから地元消費者との関係を大切にしている。

### 今後の課題・戦略

生産能力はほぼ限界だが、品質維持を最優先としており、当面増産は検討していない。ブランド戦略はまだ途中であり、今後も消費者ニーズ重視の展開を目指す。既に直営飲食店を2店舗経営しており、その拡大を検討中。

# 株式会社高田自動車学校 (陸前高田市)

■新商品開発 ■地域貢献



## 《企業情報》

- 〒029-2203  
岩手県陸前高田市竹駒町字相川74-1
- 設立 昭和50年7月
- 資本金 1500万円
- 従業員 66名
- 事業内容 自動車教習場
- 代表者 田村 満

## 《問合せ先》

- TEL : 0192-55-3990
- FAX : 0192-55-3981
- URL :  
<http://takata.driving.ne.jp>
- メール :  
[manns999manns@jmail.plala.co.jp](mailto:manns999manns@jmail.plala.co.jp)



## グリーンツーリズム型合宿教習所

成長・発展に向けた我が社の取り組み

### 取り組みの概要・効果

平成10年に岩手県内で初めて本格的な合宿型教習を導入した。都会の学生を中心に集客を図り、今では岩手県内30校の教習所の中でトップの在校生数を獲得するまでに成長している。

また、従来は地元の旅館や民宿に生徒が宿泊していたが、平成12年に合宿生のための宿泊施設を設けコストの削減を図った。更に、合宿生が増えるに依り男女別の宿泊施設が必要となり、平成15年にはもう一棟の宿泊施設を設置した。

平成16年には廃業した遠野市内の自動車学校を引受け、在校生数は更に増加している。エリアの18歳人口の激減は末期的症状にあり、このままでは将来はないと判断して、合宿教習の導入に踏み切った。その結果、経営は一時的には紆余曲折があったものの、将来を見通した戦略が功を奏した。



### 工夫・苦心のポイント

自動車教習所業界は構造不況業種であるという認識のもと、社員全員が、社長の考えを理解し、行動してくれたことにより現在のベースが築けたと思っている。

社員に社長の考えを理解させる様な場を作り、何度となく伝える必要がある。

### 今後の課題・戦略

全国初のグリーンツーリズム型の合宿教習を実施し、これが成功すればもっと企業としての実績を上げることが出来る。現在フォークリフトや建設機械、移動式クレーン等の技能講習に加え、福祉有償運転者講習も実施。東北地区における過疎化の激しい地域での自動車学校のモデルを構築したい。

# 株式会社中原商店 (盛岡市)

■サービスのモデル化・最適化 ■新ニーズの掘り起こし ■企業イメージアップ



## 《企業情報》

- 〒020-0142  
岩手県盛岡市稲荷町12-5
- 設立 昭和58年3月
- 資本金 5000万円
- 従業員 470名
- 事業内容 レストラン経営、冷麺・惣菜の製造販売
- 代表者 邊 龍雄

## 《問合せ先》

- TEL : 019-647-0474
- FAX : 019-643-6772
- URL :  
<http://www.pyonpyonsya.co.jp>
- メール :  
[h-kikuchi@pyonpyonsya.co.jp](mailto:h-kikuchi@pyonpyonsya.co.jp)



## 盛岡冷麺発祥レストラン

成長・発展に向けた我が社の取り組み

### 取り組みの概要・効果

飲食店はおいしい食事と心からくつろげる空間、そしてゆったりできる時間を提供する総合サービス業である。「ぴよんぴよん舎」ではオープン当時からそうした考えに基づくこだわりの店造りを展開している。その一つが食材であり、有機農法で栽培された米を使用し、野菜類はできるだけ県内の契約農家から調達、自然な美味しさを引き出すため保存料や添加物は使用しないなど、いち早く食の安全・安心を追求してきた。また、店舗デザインは韓国のアンティーク家具など韓国と日本の2つの異文化を融合した食空間を演出している。

盛岡冷麺のレストラン、麺とご飯のファーストフード店、ウェブ通販の3つの柱を構築している。岩手県7店舗に加えて、東京銀座に2店舗、川崎市と仙台市に各1店舗ずつ展開。自社メニューをパック化し、自宅でレストランの味を楽しめるウェブ通販も行うなどニーズの発掘に取り組んでいる。

### 工夫・苦心のポイント

当初はスクラップ加工処理業を行っており、オイルショック等で赤字経営に苦しんだのが転業に踏み切るきっかけとなった。転業後はレストランの本質である「人間性回復の場を提供する」を基本とし、①本物を追求、②価値ある商品を創造、③お客様満足を最優先、④環境保全に努める、⑤国際的な視野に立った食と空間を提供、⑥社員と会社の利益を一致させる、⑦地域社会の一員として法令順守を共通価値観として歩んだ結果である。

### 今後の課題・戦略

時代を見据えれば、いたずらな多店舗展開は経営的に無理が生じる。店舗展開は一段落したことから、今後は食材と味に更なる磨きをかけ、企業体質を一層強化することに力を注ぎたい。

# 株式会社ハイプ (盛岡市)

■新ニーズの掘り起こし ■サービスのモデル化・最適化



## 《企業情報》

- 〒020-0026  
岩手県盛岡市開運橋通1-8
- 設立 平成9年8月
- 資本金 1億5070万円
- 従業員 37名
- 事業内容 古着・輸入衣料品等の販売
- 代表者 岡本 昭史

## 《問合せ先》

- TEL : 019-621-8250
- FAX : 019-621-8230
- URL :  
<http://www.hype-net.com>
- メール : [kumagai@hype-net.com](mailto:kumagai@hype-net.com)



## 逆オークションで行列ができる古着店

成長・発展に向けた我が社の取り組み

### 取り組みの概要・効果

新しい販売方法として、毎週水曜日に1000円ずつプライスダウンする「毎週水曜日、値段がドンドンダウン」を取り入れ平日も行列ができる古着店となった。仕入はお客様からの直接買い取りで、どんな衣類でも断ることなく買い取る。店頭で売れない衣類も廃棄せず海外へ輸出する完全なリユースシステムを構築した。

平成18年に「いわてインキュベーション2号ファンド」、平成19年には「あおもりクリエイティブファンド」の投資を受けるなど、市場の可能性と当社の店舗拡大など将来性が評価されている。

新品衣類の販売ではターゲットが若者に絞られトレンドの波に業績が大きく左右される。このため幅広い顧客層から支持され安定的に売上をあげられる業態を検討した結果、リサイクル衣類を商材とした逆オークション形式によるお客様が適正な値段を選択できる現体制を確立した。



### 工夫・苦心のポイント

新しい試み始める際のスタッフの意識の切り替えに苦労した。一方で、それまでの経験を活用した販売促進でクチコミや来店動機を促すことが可能となり、一定の成果を上げることができた。

### 今後の課題・戦略

リサイクル古着の認知向上のためには多店舗展開が必須と考える。したがって新規出店に必要な業務の標準化・パッケージ化を早急に進めていく必要がある。

# 株式会社メルク (盛岡市)

■技術導入・活用 ■サービスのモデル化・最適化 ■新ニーズの掘り起こし ■地域貢献



## ＜企業情報＞

- 〒020-0102  
岩手県盛岡市上田岩脇1-14
- 設立 昭和63年10月
- 資本金 4500万円
- 従業員 432名
- 事業内容 職域食堂、レストラン経営、コンビニ  
エンスストア経営、給食業務
- 代表者 重石 桂司

## ＜問合せ先＞

- TEL : 019-656-1221
- FAX : 019-656-1228
- URL :  
<http://www.melc.jp/newpage3.html>
- メール : [saito@melc.co.jp](mailto:saito@melc.co.jp)



## 地産地消を具現化、機内食も

成長・発展に向けた我が社の取り組み

### 取り組みの概要・効果

平成7年の盛岡食材加工協同組合設立に参加し、野菜カットと炊飯工場を建設した。国内初となる地域内での地産地消を具現化するため、最新技術による「クックチル」を導入し、生産者や地元加工業者と一体となり、手作り感と美味しい料理を目指している。既に飛行機の機内食に採用されているほか、医療・福祉施設での給食業務では安全安心と省力化ができるシステムを確立しており、今後新分野での需要が期待される。

医療施設、福祉施設、学校、企業、官公庁などに現場で調理し提供しているが、社員は早朝4時出勤で三食それぞれの時間に調理する必要性があり労務時間の確保が大きな課題であった。これらを克服するため「クックチル」システムを本格稼働させ医療施設などへ食事を提供している。経営効率化やコスト削減のため入院患者の食事を外部に委託する病院、老健施設が増える傾向にあり、今後も新たなニーズが見込まれる。



### 工夫・苦心のポイント

地元をはじめ国内の産地で収穫された新鮮食材を地産地消として利用し、調理した食事は10分前後で3℃以下に急速冷却し工場で保管。

食べる際は再加熱装置の付いた専用カートで運搬しながら温めて配膳する手軽さが関心を集めている。既に飛行機の機内食で実証済みで、美味しい食事提供ができるシステムとして好評である。

### 今後の課題・戦略

地元食材を積極的に活用し、地域食文化を献立に採用している。地元食品業者及び食材生産者と信頼ある取引を行い、お客様への心温まるサービスを基本とする。

地域の発展と繁栄に創造的任務を果たしていくことが経営理念であり経営戦略でもある。今後は人材育成に努めて顧客に対し質の高いサービス提供に取り組んでいく。